

# マナちゃんかわら版

## マナちゃん&ユウくんのお撃インタビュー

### いちかわみゆき先生



私の今は、すべてが『あみぐるみ』からつながってる。やっつけてみかっとなって思うところはないんです。

あみぐるみと言えばこの人！といっても過言ではないでしょう。人気あみぐるみ作家であるいちかわみゆき先生は、日本あみぐるみ協会の代表も務められ、じつはマナちゃん&ユウくんもその協会員。今回はそんな親交の深い、いちかわ先生に突撃インタビューです！

**ユウ** 先生には、僕らもあみぐるみ協会員として、じつもお世話になっております。マナ お世話になってるにゃんっせんせい

いつあみぐるみにであつたにゃん。

**先生** 22歳の冬に、かぎ針編みがあるっていうことを初めて知って、そこで編んだのがクマのあみぐるみでした。実は、小学生の時から毎年冬は編み物をしてました。学校で習わない世代なんですけど、母はしていて。ただ「編み物」棒針「冬」編み物」っていつイメージだけで、毎年マフラーとかに挑戦はするんですけど、目は落ちるし、裏表間違ったら直せないし、外れちゃえば続きできないし、っていうので、毎年挑戦しては「玉目の最初でポイっていう感じで大学生まで…(笑)

**マナ** そうだったにゃん。

**先生** それで、かぎ針に出会ってすぐクマっぽいものを編んでみたときに、そもそも手芸が苦手だから編み目はきつたないし、目玉は飛び出てるし、手足もちぐはぐに縫って、なんだこりゃ！っていうものだったんだけど、そのときは『うわーかわいいのできちゃった！』って思ってた。そこから調子に乗って今までやってます(笑)最初の一個があみぐるみだったから、ずっと続けているんだと思います。

**ユウ** 運命的な出会いをしたらなんですなあ。

**先生** 先生が主催されとります『日本あみぐるみ協会』は、どんなきっかけで発足したんですか？  
**先生** あみぐるみを編み始めてすぐ、クリエイティブイベントに出店したり、当時はあみぐるみで出てる人が珍しいっていうのもあって、もう、どわーっと売れたんです。今考えるとよくあるなもの売ってたなって後悔するぐらいのクオリ

ティのもので恐れ多いんですけどね(笑)それでまた調子に乗っちゃって、自分の作品を載せたホームページを作り始めたんです。私元々高校大学と情報処理科だったので。

**マナ** ホームページもつくれるにゃんっすごいにゃん！

**先生** それから、当時ちょっと流行ってたまとめサイトみたいな仕組みがあって、それであみぐるみのページを作ってる人をまとめたサイトの管理人をやったんですけど、展示会をやりたいて話になったときに、みんなに声をかけたら40人も集まっちゃって。それがあみぐるみコレクションの1回目になったんです。その半年後にもう一度やったら、その時は99人も集まって。こんなにいっぱい作家がいるなら協会作るって言って、協会にしたんです。だからほんとに全部たまたまっていう感じなんですよね。

**ユウ** まさに、めぐり合わせですなあ。先生にとつて「あみぐるみ」はどんな存在なんですか？

**先生** そもそも私、手芸はほんと苦手なんです！でも、わた入れて顔が付いたら、なんだかわいいく見えるじゃないですか。そのマジック



がすごい自信になって今につながってるんですよ。実は私、ほんとに人前に出るのもダメで、人としやべるのも苦手なタイプだったんです。でもあみぐるみに出会って、その「かわいい」が私の自信になって、自分自身すごい変わったなって感じます。あみぐるみに出会ってなければ、人生が違っていたらなっちゃってたけど、今は自信を持ってきてるんです。だからなんかね、なにやってもダメな人は、ぜひあみぐるみやってくださいって思います！編み物って、初期投資がすごく少なくてできる手芸だと思っんです。かぎ針一本と毛糸があれば、どこでもできる。だから最初は、良いかぎ針を一本と良い毛糸を1玉買ってください、って言ってます。安物で始めちゃって編みにくいか、やっぱだめだとか、それって技術じゃなくてモノが良くないせい、自分の手に合わないだけだから。いいもので編み始めれば、あとはできちゃったものが「かわいい」でいい！あみぐるみは、編み方が間違ってもなんとなくできちゃうし、不細工なのがかわいいて思える唯一の手芸だと思っんです。

**マナ** マナちゃんもあみぐるみでいっぱいいたのしんでほしいにゃんっ♡

**ユウ** 最後に、今後の目標はありますか？

**先生** 『あみぐるみ』を知らない人がいない世界にしたいですね！セーターを知らない人はいないけど、あみぐるみを知らない人はまだまだいっぱいいるので。「編み物」あみぐるみ「あ、やったことないの？」じゃあまずはあみぐるみだね！っていう風になるといいなって思っています。身に着けるものってちょっと気合が必要だけど、あみぐるみは置いてもいいし、あげてもいいし、ちっこいのも大きいのも、相手に合わせているんな形にできるんです。基本的にテクニックは数えるほどでできちゃうし、編み物への入り口になればいいなって思っています。